

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-02-01-05
事務事業名	地球温暖化防止対策事業		根拠法令・要綱等
	地球温暖化対策の推進に関する法律		
事業開始年度	H17～		問合せ先
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)	環境課
中項目 基本施策	自然と共生するまちづくり	職・氏名	保全係長 尾野田瑞穂
小項目 施策	環境保全	電話	0869-64-1822

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	小学生～成人までの市民
目的(何のために)	温暖化防止のための活動や取り組みについて情報提供などを行い、住民各人に環境について考える意識啓発を行う。
行政活動(どのような方法で)	環境問題を題材とした各種イベントの開催 エネルギーに関する資料の展示や貸出を行うオフィスの開設運営 地域エネルギービジョン等の策定
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	温暖化防止活動に取り組むきっかけになる可能性がある人員を増やす

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
啓発事業の実施	回	12	32	28
環境展示オフィス開設	箇所	1	2	2
ホームページ作成	サイト	1	1	1
地域エネルギービジョンの策定	回	0	0	1
活動実績				
直接事業費	千円			4,528
人件費	千円	3,747	10,168	3,121
事業費計	千円	3,747	10,168	7,649
国県支出金	千円			4,600
受益者負担	千円			
一般財源	千円	3,747	10,168	3,049
必要人員	人	0.30	1.40	0.40
結果指標名				
結果指標	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
啓発事業への参加者数	説明			
結果指標量	人	488	3,001	2,445
対前年比	%	-	615.0%	81.5%
活動コスト	円	3,747,000	10,168,000	2,594,000
単位当たりコスト	円	7,678	3,388	1,061
結果指標	説明			
結果指標量	人			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	啓発事業への参加者	式又は説明	数参加者数総計
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	488	3,001	2,445
対前年比		614.96%	81.47%
到達目標値	2,000	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	地球温暖化問題は、非常に大きな課題であるが市民・事業者が共通の問題意識を持って対策を行うように取り組んでいかなければならない	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	B
市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
コスト	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	啓発活動については、他団体との協力体制もできている観点からみれば効率よく事業がすすまれている。また、各種計画等についてはできるだけ経費をおさええる方法で策定していかなければならない。事務作業の見直しにより人件費が削減できた。	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
手続	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E>	C
職場	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	成果としてもっと具体的に認識できるものが必要かもしれない	
成果向上の可能性			
有効性の評価			
市民参画度			

平成20年度の状況		説明	まほろば事業に協力するスタイルで啓発事業を行った。また、NEDOの定額補助を活用して市のエネルギー関係の基本方針となる「備前市地域エネルギービジョン」の策定を行った
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 2000人	結果指標量	2000人
成果指標量	2000人		

総合評価		評価区分<A-E>	C
今後は、他事業と連携し普及啓発の拡大を図り、温暖化防止に努めていく。		図表	

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	他団体との協働事業のよき事例になっており、継続していている部分を相互協力して維持していく	21年度	人・物・予算の相互作用で事業が効果的に実施できる